



大谷地だより

Vol.68

発行 北星学園大学同窓会
札幌市厚別区大谷地西2-3-1
TEL (011) 891-2731
発行責任者 松倉 千春
編集責任者 事務局 編集委員
印刷 北海道リハビリ

同窓会定期総会・懇親会

日時 10月12日(土) 定期総会 午後 16時30分
懇親会 午後 17時30分
会場 札幌パークホテル (札幌市中央区南10条西3丁目 電話 011-511-3131)
会費 3,000円

同封の葉書にて、10月1日までに出席をお知らせください。
※着席式で企画していますので、必ず申し込みをお願いいたします。



同窓会定期総会・懇親会のご案内

会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。恒例の定期総会及び懇親会のご案内を兼ねました大谷地だより第六十八号をお届けいたします。

懇親会は五十周年を記念して、歴代の学長(名誉会長)と同窓会長をご招待するとともに、「アトラクション」として、放送研究会が司会進行を行い、演舞同好会による「よさこいソラン」、チアダンス部による「チアダンス」を皆様にご披露いたします。

各支部総会・懇親会のお知らせ

今年も各支部にて、総会・懇親会が開催されます。札幌で行われる懇親会に都合で参加できない方、地方であれば参加しやすい方は是非お越しください。もちろん、札幌の懇親会に出席を予定されている方も大歓迎です。

- 函館支部**
総会・懇親会は8月24日(土)に終了いたしました。詳細につきましては、支部長の畑中さん(0138-46-2537)にお問合せください。
- 北見支部**
総会・懇親会は8月31日(土)に終了いたしました。詳細につきましては、北見支部の関口さん(0157-22-4015)にお問合せください。
- 帯広支部**
9月7日(土)に行われます。総会、懇親会とも会場は、ふく井ホテルです。詳細につきましては、支部長の樋渡さん(0155-49-2800)にお問合せください。
- 釧路支部**
9月8日(日)に行われます。総会、懇親会とも会場は、釧路キャッスルホテルです。詳細につきましては、釧路支部の宮田さん(釧路市東部北地域包括支援センター0154-42-0600)にお問合せください。
- 旭川支部**
9月28日(土)に行われます。総会、懇親会とも会場は、ロワジールホテル旭川です。詳細につきましては、支部長の上杉さん(0166-53-3515)にお問合せください。
- 東京支部**
11月9日(土)に行われます。総会、懇親会とも会場は、学士会館203号室です。詳細につきましては、支部長の相馬さん(03-6666-0821)にお問合せください。
- 千歳支部**
12月7日(土)に行われます。総会、懇親会とも会場は、未定です。詳細につきましては、支部長の二ツ川さん(0123-24-8242)にお問合せください。

同窓会員の皆様、昨年は北星学園大学が開学五十周年の時を刻み、本年は同窓会が結成五十周年を迎えるに際し、歴代の役員、同窓会員の皆様に厚くお礼申し上げます。

我、北星学園大学同窓会の結成は一九六四年(S三十九)の三月、第一回卒業式後、第一期生八名(文学部英文科)によって同窓会が発足し、初代会長には濫川正憲氏(一九六四年英文科一回生)が選出され、同窓会としての船出が始まりました。その後五十周年の歴史を歩み続け歴代会長は十四代目となっています。一口に五十年と言っても、同窓会の歴史を語る中で、先代の会長、役員の方々が同窓会継続のために様々な課題に取り組み、知恵を出しながら問題の解決に努め、同窓会への将来の夢を繋いできた事で記念の年を迎える事が出来たのではないのでしょうか。

私は一九六五年(S四十)に文学部社会福祉学科に入学しました。当時の大学の様相はプレハブ校舎、チャペル、図書館、学生寮(南五条校舎で火災に遭った建物の一部で開設された)が原野の中に点在し、大学のキャンパスとしては評価しがたい環境であったことを思い出します。

しかし、入学後の学生生活ではすばらしい可能性を秘めた大学であることを実感することが出来ました。大学教員は若く、エネルギッシュ、学生数も現在と

同窓会は楽しい集まりです。私は職責上、道内、道外を含めての七支部の総会、懇親会に出席し懇親会での会話の内容は大学時代の事です。出席者の年齢層

同窓会には楽しい集まりです。我、同窓会が「皆一つと成らんがために」を願いつつ、五十周年を迎えられた事に深い感謝の念を申し上げます。



新入会員の方々へ

大学同窓会五十周年を記念して

皆一つと成らんがために

同窓会長 松倉 千春

も、同窓会の歴史を語る中で、先代の会長、役員の方々が同窓会継続のために様々な課題に取り組み、知恵を出しながら問題の解決に努め、同窓会への将来の夢を繋いできた事で記念の年を迎える事が出来たのではないのでしょうか。

私は一九六五年(S四十)に文学部社会福祉学科に入学しました。当時の大学の様相はプレハブ校舎、チャペル、図書館、学生寮(南五条校舎で火災に遭った建物の一部で開設された)が原野の中に点在し、大学のキャンパスとしては評価しがたい環境であったことを思い出します。

しかし、入学後の学生生活ではすばらしい可能性を秘めた大学であることを実感することが出来ました。大学教員は若く、エネルギッシュ、学生数も現在と

同窓会には楽しい集まりです。私は職責上、道内、道外を含めての七支部の総会、懇親会に出席し懇親会での会話の内容は大学時代の事です。出席者の年齢層

同窓会には楽しい集まりです。我、同窓会が「皆一つと成らんがために」を願いつつ、五十周年を迎えられた事に深い感謝の念を申し上げます。

北星学園大学同窓会五十年のあゆみ

はるか初代ということ

初代会長 澁川正憲

古い表現を借りていえば、筆舌に尽し難い困難に立ち向い、乗り越えた学園の総力をあげての大学新設の成就の自信と抱負を内に秘め、これから疾風怒涛の大洋に乗り出そうとする力強い姿は私個人にとっても最後の運命を托す大きな事件でした。十四、五年に

わたる斗病のあと家族を巻き込んだ貧困と、病歴者にはい

べも無い社会には就活も職場

もあり得ず、そうした中での

私の人生の後半を托す最後の

決断、いわば賭としたのが新

生北星大学の英文科でした。

従ってこの両者は私にとって

全く一つの事象であり運命そ

のものでした。がしかしそうした順調と思われぬ大きな機運のうねりの中にも思わぬ試練が待ち受けていました。学園の司令塔もある校舎の一部からの突然の発火炎上はそれが厳寒・年末・夜中のことでもあり、我が家とは道一つへだてただけに我が人生の行く末も思い、眼近かに迫り来る紅蓮の焔は足元をわななかせ、気持を凍らせるものでした。

しかしその失火を前にして立ち尽くす教職員学生を立ち上らせたのは、それぞれが日頃の試練にも堪え抜くように鍛えられた運命愛であり信仰の力だったでしょう。

それは、三月月に向って常に祈りと感謝を捧げた山陰の武將、山中鹿之助の言葉を借りれば「我に艱難辛苦を与え給え。」と念じた清々しい逞しさに通底するど根性でした。その逞しさはあわただしく決った遠い大谷地への遠征に結実します。まだはるかに遠い場所にはか便の無いバス停から、大吹雪の中を高台のプレハブ校舎に向い黙々、延々とつらなる学徒と前学園の人々の斗魂はいわゆる毛沢東たちの長征にも比するものがありました。

文学部 第一回卒業生



勿論細かいことには色々問題があったでしょう。例えばいささか私事にわたりますが、私と私の兄が師事した北

大予科の英語の先生であり、ここ新生北星大学での久闊と奇遇を喜ぶと共に色々細かい思いの内も伺えたものです。先生は共学と日教組には反対でした。

しかし私にとって北星での

共学は才媛たちとの邂逅に恵

まれ、時には北大植物園の緑

の芝生と緑の木陰で詩人ダン

の講義に耳を傾けるなどの同

学の友であり、嬉しくも清々

しく何かにつけ教えられるこ

とも多い大人たちでした。

そうして私の気持を開かせ

たのはその寄って立つ学園の

キリスト教の教学としての姿

勢でした。私には私なりの宗

教観なり人生観があり、所謂

クリスチャンではありませ

ん。ただチャプレン加藤邦雄

先生の宗教に関する学生のレ

在学時代の思い出と 同窓生としての関わり

八代会長 山田幸雄

経済学部の一学期として卒業し、早いもので四十数年が経とうとしています。

その四年前(昭和四十年四月)、バス停を降りてから雪解

け水でぬかるんでいた坂道を

登って入学式に臨んだ学校は

施設整備中で、四階建ての本

校舎、チャペル、図書館それに

何棟かのプレハブ校舎が建っ

ていたと記憶しております。

プレハブ教室での授業など

決して恵まれた施設環境とは

言えないなかでも、先生、学

生等の間にはこの新しい大学

ポートに対しての姿勢や日常の講義には私の思いを広く深めるものがあり、時には混じえるヘブライ語の話も今はなつかしいものです。また学長

鷺山第三郎先生のシェイクス

ピアアンとしてのはたまた

仏教にも造詣の深くあられた

講義の余韻は、今も耳底に残

ります。

何はともあれ当時の専任・

非常勤を問わず全ての教員各

位が持たれた講義の数々を今

もなおなつかしく思い起こし

ます。と共に献身的サポート

に終始して下さった事務方の

人々の努力にはただ脱帽ある

のみです。

そうしていよいよ卒業の日

です。屋内でのささやかなが

らフォーマルな式典のあと、

屋外に出て記念の撮影です。

を築いて行くのは私達だという自負があったような気がします。

又、大学生活の後半からは大学の自治を巡り全国的に大

学紛争が勃発し、特に卒業後

はもつと激しい闘争になって

いったと思っております。

そうした中、若手の先生方

による授業はもろろん、各種

行事に参加したり、クラブ活

動として始めは「新聞会」、そ

の後には「経済研究会」(今も当

時顧問の杉上忠幸先生と同期

の十数人とは定例会を開催)

和服に袴の一名の人を含め総勢七名一列横並びに椅子をか

けいいつもとは異なった清々し

い空気と思いを満身に吸い

込みながら、これからたくま

しく育とうとするキャンパス

を見渡すと、文字通り一点の

雲もない青空の果て石狩平野

はどこまでも白銀に輝く光に

溢れていました。

何はともあれ皆さんお世話

様でした。ありがとうございます。

最後に、付け加えてい

ただきたいのは、ささやかな

が卒業記念としての思い出

を残すために、少数メンバー

ながら鳩首協議の結果まと

まったのが、一つは図書室の

贈であり、一つは奨学金の支

援ということでした。永く続

くことを祈っております。

に所属して、先生方、先輩、同期の皆さんから色々な事を学んだ気がします。社会人になつてからは大学時代に経験した色んなことが非常に役に立ったと思っております。

大学卒業後、数年経ってから当時大学事務局に勤めていた同期の大野和喜さんから同窓会の幹事の話があり、昭和四十八年から五十七年まで役員を務めました。その間五十年から二期(四年間)は会長職を務めました。

四十九年の幹事の時に、今

の「大谷地だより」の前身の

「同窓会だより」の創刊にた

ざざわり、その後は事務局の

大野さん達が引き継いでく

れました。

会長時代はどちらかとい

うと、前任者の仕事を途切れ

ることなくこなしていくと

いう守りの姿勢が多かった

と思っております。



1991年 図書館落成後の正面入口

最後に、こうして昔を思い起こしてみると、近年は、大

学当局も学生もマスコミ等も大学は就職のための学校

ということが前面に出すぎ

ている気がしてなりません。

役員退任後は仕事も忙し

くなり又転勤等も重なり同

窓会とは疎遠になり、「大谷

地だより」やマスコミ等で大

学や同窓会の現況を知るだ

けになっていきます。

止まってみると、一度立ち

あ

創立期の思い出

十代会長 加藤 峰

春の陽気な野原にヒバリがさえずり、遙か彼方には牧場のサイロ、右手には森が広がっていた。それが北星学園大学の新校舎建設の予定地であり、広大な敷地（現在の大谷地）だった。新聞会の取材で庶務課の職員に案内された五十年前の日を懐かしく思い出す。

当時の校舎は、中央区南三条西十七丁目の歴史的建造物（屋根、壁トタン葺きの木造）の仮校舎で廊下や階段が黒光りする趣きのあるものだった。学生数も二〇〇数十名と小さな大学。まさに創立期。何かをしなければ、何かが足りない。北星学園の中学・高校、短大の存在は社会的認知度はあるものの、大学の存在は、まだ知られていない。学生の声を発表したり、ここに北星学園大学の存在を広く社会に知らしめるには、新聞会

が必要ではないかと思いついた。また、新聞会をしていた短大の友人の手伝いをしたことがあり、学生生活にとって新聞会の役割は有意義と感じていた（私は、短大一年から大学二年に編入）。しかし、私は書くことは苦手であり、ましてや新聞会というサークルの中心になってやってみようという組織力などはない。また、わず

か二〇〇数十名という少数の学生にとって、新聞会が本当に必要なのだろうかかと自問自答していた。そんな時、短大時代からの恩師であった永田勝彦先生に相談したところ、「いいんじゃないですか」と穏やかな一言。それに勇気づけられ、早速部員募集のチラシを印刷。八人位の仲間が集まったので、その中には経

験者や書くことが好きな人がいるだろうと思ったが、残念ながら経験者はいなかった。新聞発行といっても印刷代などの資金も全くない。他大学の話によると広告を集めて発行したとの例を聞き、私達にもできると決心。早速にコピーを飲みに入った喫茶店、夕食を食べに入ったそば屋、行きつけの本屋等へ「北星学園大学ができて、新聞を発行しますので広告を是非出して下さい。お願いします。」と積極的な働きかけをして資金を集め、第一号の運びとなった。

球連盟は一部、二部、三部各六大学で構成されており、二部のマネージャーによる大会運営が最もスムーズで、ここ二年間は運営委員長を務めています。平素はボール拾い、水分補給、用具管理、スコア付け、ビデオ撮影、大会運営にと多岐にわたる任務を全うしています。従って、部員たちは自然とマネージャーの言行には一目置かざるを得ません。たぶん、歴代のマネージャーたちもリーダー性を発揮して実社会での多少の労苦も乗り越えていると確信しています。

一方、部員もマネージャーも八月中旬からの秋のリーグ戦のために練習や大会で夏休みを返上しなくてはなりません。好きな野球のためとはいえ、相当の覚悟なくして四年間は続けられないでしょう。こうしたマネージャーに対する恩返しは、何ととっても勝利で報いることが一番ではないかと感じています。ベンチでスコア付けを忘れて飛び上がって喜ぶ姿を見てそう思います。わがチームは他のどの大学

伝統の「女子力」は健在!

十二代会長 春日 満夫

大学卒業後、公立高校の教諭となり、定年退職後も五年間私学での勤務を経て退職しました。翌年からは町内会活動に携わりながら、大学の硬式野球部の練習や試合をみせてもらい、平成二十二年度の

秋から正式に係らせてもらい現在に至っています。元来座学は不得手な人間なので火曜と木曜日以外は四月から十月まで放課後の練習、土日祝日の練習試合、春秋のリーグ戦計二十試合、春秋のトーナ

メント戦などに監督として同行しています。まず、感心したことは通称マネージャーがグラウンド上のプレー以外のすべての運営を全大学で分担して取り仕切っていることです。札幌学生野

より活気にあふれています。一説には「うるさい」ともいわれています。審判へのクレームによる指導も時折ありますが、勝利のために真剣だし、審判の動きを厳しくチェックしています。もちろん、その場は選手をなだめますが、公平な目で選手のジャッジの方が正確です。

上級生は率先して後輩と一緒に練習後はグラウンド整備をします。短時間でも貴重な一体感こそがチームの原動力だと痛感します。三部との入替戦に臨んだこともありすが、平素の結束力があつたからこそ残留に結びついたと思います。

私の任務は一つでも勝利へ結びつけられるように新二励まし背中をおすことだけです。主将や副将の主導のもと、あくまで自主性を尊重して活動を支えています。

私の在学中は「女子力」の影響は強力なものでした。どいうやら半世紀を経て、野球部という小さな社会の中でも「北星の女子力」の伝統は健在のようです。

私の在学中は「女子力」の影響は強力なものでした。どいうやら半世紀を経て、野球部という小さな社会の中でも「北星の女子力」の伝統は健在のようです。

50 HOKUSEI

大学同窓会発足50周年記念

同窓会のあゆみ

年	事業等	会長
1964	十字街同窓会発足、大学校舎定礎式参列	澁川 正憲
1965	同窓会誌創刊号発行	浅川 秀明
1966	第1回新入会員歓迎会開催	
1967	野球部へ遠征費補助	小竹 秀二
1968	同窓会寄贈図書開始	八幡 紀男
1969		北野 義城
1970	グループ研究補助	
1971	卒業生住所録発行、体育祭援助、同窓会事務局設置	小林 宏圭
1974		深沢 秀則
1975	同窓会奨励生制度発足、同窓会だより創刊号発行	
1976		山田 幸雄
1979	校舎増改築落成記念優勝杯棚ケース寄贈	
1980		浅川 秀明
1981	同窓会誌開学20周年記念号発行、記念植樹	
1982		加藤 峰
1983	旭川支部設立準備金補助、退職予定教職員への記念品贈呈、卒業記念品贈呈（ネーム入りボールペン）	
1984	旭川支部設立	吉岡三千子
1985	帯広支部設立	
1986	大学後援会に役員3名を派遣	春日 満夫
1988	卒業記念品（テレホンカード）、北見・東京両支部に設立準備金補助、北見支部設立	
1989	東京支部、函館支部設立、開学30周年記念プロジェクト設置	
1990	釧路支部設立	遠藤 憲一
1993	旭川支部設立10周年	
1994	帯広支部設立10周年	
1995	阪神淡路大震災ボランティア援助金補助	
1996	千歳支部設立	
1998	東京支部設立10周年	
1999	函館、釧路両支部設立10周年	
2000	卒業記念品（図書カード）	
2003	旭川支部設立20周年	
2005	卒業生住所録作成中止、千歳支部設立10周年、サークルOB・OG会通信費補助	
2006	北見支部設立20周年	
2007	函館支部設立20周年	
2008	釧路支部設立20周年	
2009	北星学園女子短期大学同窓会と統合、創立100周年記念館へ寄附	松倉 千春
2012	旭川支部設立30周年、パイプオルガン寄贈	
2013	同窓会発足50周年	



1990年代 懇親会にて

今とこれから

文学部心理・応用コミュニケーション学科卒

中川 祐貴

はじめに、同窓会発足五十周年誠にめでとうございませう。このような文章を載せていただく機会を頂き、大変光栄に思っております。

私は二〇〇八年度に文学部心理・応用コミュニケーション学科を卒業しました。当学科は二〇〇二年に新設され、私が入学した二〇〇五年度に一年生から四年生まで揃いました。学科としての歴史は浅いですが、そこでの四年間は私にとって大きな財産となりました。

卒業後に築いた北星との接点

～同窓会活動を通じて～

経済学部経営情報学科卒

浦 靖宝

気がつくのと来年には自分の卒業後二十年となる昨今、思いがけず「同窓会だより」に寄稿する機会が。

「自分でいいのだろうか」という疑問は事務局の方の懇切丁寧な説得(?)によって納得しました。大学時代は何かやってたっけ?という疑問だけは払拭することができました。そう、私の北星時代について言えばサークル活動にも全く縁がなく、当時続けていたアルバイト先と大学と自宅を往復する日々で、ただその少ない交流の

ました。そのような体験が現在の職務で役立っております。大学卒業後、私は学校法人北星学園の事務職員となりまして。現在、事務職員を勤めさせていただいて五年目となります。おかげさまで、同期の同窓生よりも同窓会を身近に感じております。同窓会懇親会においては、普段なかなか

かえない同窓生との再会や教職員との交流を楽しむ同窓生の皆様にあたっております。私の同期と再会を喜ぶのはまだまだ先の話となりそうですが、そのような楽しみを胸に秘めつつ、今後とも大学ならびに同窓会を支えていきたいと思っております。

になるとは全く想定していなかったもので、いざ自分が幹事長として千歳支部の事務局を任されることになった時は実のところ相当な不安がありました。

思えば遠くに来たもんだ

経済学部経済学科卒

遠田 嘉憲

同窓会発足五十周年、おめでとうございます。

改めて数えてみると大学を卒業して四十四年間、「思えば遠くへきたもんだ」というのがいつわりのない実感です。そもそも大学の入学式に遅刻、会場のチャペルの扉をあけて開けて、とんでもない音を立てたこと、大雨が降ると授業が中止になるようなプレハブ校舎、周囲の牧歌的な野原、今でも想い出深いもの

した。それでも二〇〇三年から二〇〇九年まで六年間にわたり幹事長を務めることができ、新たな北星との繋がりを築くことができたのは、二ツ川支部長をはじめ役員や諸先輩、それに毎年欠かさず支部総会や各種行事に出席していただいている支部会員の皆様のおかげです。この場を借りて心よりお礼申し上げます。

「もつと勉強しとけば良かった」につきます。三十才後半に入って総合的な管理を任せられるようになり、色々な本を

時は流れて、積み重なる

文学部英文学科卒

高橋 麻里子

昨年、大学が盛大に開学五十周年を祝ったことは皆さんのご記憶に新しいことだと思います。卒業してからも職員として大谷地に通う私は、その五十年のうちの半分以上の年月をここで過ごしてきたことになりました。第一志望だった北星の英文学科に胸を躍らせて入学したのがいつだったかはさておき、私の四年間は、今も変わらぬ付き合いのある友人たち、お世話になった矢口先生やゲイナー先生をはじめとする恩師に恵まれ、これまでの人生のタイムラインの中で最も大切に愛おしい時です。もしも過去に遡ることができたら、迷わずに大学時代に戻りたいと思うくらいです。

短大部として大谷地に移動し、キャンパスの建物も変わり、二学部三学科だった当時とは比べ物にならないほど大勢は大きくなりました。懐かしさ思い出すのは一号館と階段教室の四〇一、生協にあった喫茶部レインボー、英文学科の学生は必ず使ったLL教室に、S、N、Eの各サークル棟・・・今のセンター棟はもともと図書館で、玄関でスリッパに履き替えて二階から入館してました。チャペルでは入学式と卒業式も挙行してました。今では学生時代の思い出の場面の数々を

読みあさってはみましたが、出来の悪い頭がそう簡単に良くなるものではありません。経済学部の卒業生としては恥ずかしい限りで、学生のころ情熱的に教えて下さった先生達の顔を思い出すとこれまた恥かしい思いで一杯です。

ががあります。また、大学一年のとき、先輩(私はひそかに哲学者にちなんでヘーゲル坊やと呼んでいました)に、「人の受け売りではなく自分の頭で考える」ことの大切さを叩き込まれた(?)ことは、今でも私の抛り所のひとつになっています。また、社会人になってから、同窓会東京支部発足の呼びかけ人の一人として微力ながら同窓会活動に関わるようになったのも

た。幸いにも他学科卒業生も含めた仲間たちの絶大な協力を得て次々と発足し、現在に至っている。設立以後は、同窓会の支部総会及び懇親会に数多く参加した。地方の父母懇談会と同窓会支部の総会・懇親会の同一開催日の機会が増えて行った。各支部の懇親会では、当地の名産品による御馳走を賞味出来た思い出は大きい。また卒業生にとっても、その地に大学同窓会支部があることは心強い

のと思う。ただ、大学教員の後半になると、次第にその機会も減り、幹事としての活動からも退いて行った。その意味では、昨年に幹事を長期に亘って努めたとして表彰されたが、内心は忸怩たる思いであった。支部設立への努力賞と解している。他に、大学同窓会での記念写真が思い出の大きな記しとなっていることは否めない。

設立だけでなく、やはり短期大学同窓会との合体によって名実ともに大学同窓会となったことであつたと思う。昨年の大学設立五十周年記念、そして今年の大学同窓会設立五十周年を迎えて、大学が大きな節目を迎えていると言え

卒業生であり教員でもあった私と同窓会

文学部社会福祉学科卒

米本 秀仁

学籍番号六五一二五九(一九六五年入学文学部社会福祉学科五十九番)北星学園大学の仲間へ自己紹介する時に、私が第一声で発する言葉である。この年には、大学に

て、他の六つの支部設立に多少とも尽力したつもりである。何度も当地の卒業生を尋ねては、主として社会福祉学科卒業生や同期生を頼りにして設立への働きかけを行なっ

た。幸いにも他学科卒業生も含めた仲間たちの絶大な協力を得て次々と発足し、現在に至っている。設立以後は、同窓会の支部総会及び懇親会に数多く参加した。地方の父母懇談会と同窓会支部の総会・懇親会の同一開催日の機会が増えて行った。各支部の懇親会では、当地の名産品による御馳走を賞味出来た思い出は大きい。また卒業生にとっても、その地に大学同窓

会支部があることは心強いものと思う。ただ、大学教員の後半になると、次第にその機会も減り、幹事としての活動からも退いて行った。その意味では、昨年に幹事を長期に亘って努めたとして表彰されたが、内心は忸怩たる思いであった。支部設立への努力賞と解している。他に、大学同窓会での記念写真が思い出の大きな記しとなっていることは否めない。

設立だけでなく、やはり短期大学同窓会との合体によって名実ともに大学同窓会となったことであつたと思う。昨年の大学設立五十周年記念、そして今年の大学同窓会設立五十周年を迎えて、大学が大きな節目を迎えていると言え

OKUSEI



1963(昭和38)年夏、大谷地校地買収当時の全景

なほ黎明のときを迎えて

学籍番号六五一二五九(一九六五年入学文学部社会福祉学科五十九番)北星学園大学の仲間へ自己紹介する時に、私が第一声で発する言葉である。この年には、大学に

て、他の六つの支部設立に多少とも尽力したつもりである。何度も当地の卒業生を尋ねては、主として社会福祉学科卒業生や同期生を頼りにして設立への働きかけを行なっ

た。幸いにも他学科卒業生も含めた仲間たちの絶大な協力を得て次々と発足し、現在に至っている。設立以後は、同窓会の支部総会及び懇親会に数多く参加した。地方の父母懇談会と同窓会支部の総会・懇親会の同一開催日の機会が増えて行った。各支部の懇親会では、当地の名産品による御馳走を賞味出来た思い出は大きい。また卒業生にとっても、その地に大学同窓

会支部があることは心強いものと思う。ただ、大学教員の後半になると、次第にその機会も減り、幹事としての活動からも退いて行った。その意味では、昨年に幹事を長期に亘って努めたとして表彰されたが、内心は忸怩たる思いであった。支部設立への努力賞と解している。他に、大学同窓会での記念写真が思い出の大きな記しとなっていることは否めない。

設立だけでなく、やはり短期大学同窓会との合体によって名実ともに大学同窓会となったことであつたと思う。昨年の大学設立五十周年記念、そして今年の大学同窓会設立五十周年を迎えて、大学が大きな節目を迎えていると言え



創立期から50年、新たな

経済学部が発足し二学部体制になったのである。在学中や卒業後の暫くの間は、同窓会と関わったという記憶は定かではないが、一九八一年九月に大学文学部専任講師として就職してから二〇一二年三月に定年退職をするまでのおよそ三十年間に、同窓会と関わることとなった。大学の同窓会幹事としての役割もあつたが、その中でも同窓会支部の設立への働きかけが思い出に残るものであつた。現在、大学同窓会支部は、旭川・北見・帯広・函館・釧路・千歳・東京の七支部であるが、最も新しい千歳支部の設立を除いて

若さ溢れる釧路支部！

宮田 佐佳衣
今考えると、あれが策略だったのか。(笑)。花より団子の私。同業者の先輩に「美味しいものが食べられるから、ちよつとおいでよ」とのお誘いに対して、深く考えもせず同期二人と一緒に出席。それが、同窓会との最初の接点でした。同窓会という「大先輩

話まで、自分には持ち合わせない視点での意見交流。とても有意義な時間です。同じ大学出身というだけで親近感がわき、普段であれば気軽に会話などできない諸先輩方とも知り合うことができ、本当に有難く思います。多くの方に、仕事やプライベートでもお世話になることが多く、これからの人との繋がりを大切にしていきたいと感じています。また、最近では、若い参加者も増えてきており、その中には縁あって...というお話も

私と北星学園

短期大学部 英文学科卒

森谷 宏樹
私が北星学園に入学したのは二〇〇二年、男女共学一期生である。当時は男性で短期大学に進学するのは珍しいことであつたのか、進学説明会でも「短大だけ、大丈夫？」と担当者に聞かれたほどである。当時の私は、大学の英文科よりも、短期大学の英文科のほうが魅力的に感じていた。というのも、北海道に居ながらにして海外留学に近い環境で学べるからである。外人講師が多いのは勿論、彼らが英語に関する教科のみではなく、地理や統計学などを英語で教授するシステムは海外留学が夢であつた私にはとても魅力的に感じた。これは私が北星学園に進学した理由の一つである。実際、外国人講師のこれらの講義は、あたかも自分が海外の大学に来ているかのような錯覚を覚えるような私にとって最高の授業であつた。

思い掛けない執筆依頼に戸惑いつつも、在学中の思い出などを書き連ねてゆきたいと思ひます。在学中は、深夜のアルバイトが終わりから大学へ向かう日があり、眠たい目を擦りながら受講しておりました。昨今のように若年層の車離れなどが叫ばれる前でしたので、マイカーの維持費等を稼がねばならなかつたのです。講義が終わってから、友人とドライブに行ったり、洗車をしたりと、今思えば車中心の学生生活だつたような気がします。

同窓会発足五十周年に寄せて

社会福祉学部 福祉心理学科卒

佐々木 洋

思い掛けない執筆依頼に戸惑いつつも、在学中の思い出などを書き連ねてゆきたいと思ひます。在学中は、深夜のアルバイトが終わりから大学へ向かう日があり、眠たい目を擦りながら受講しておりました。昨今のように若年層の車離れなどが叫ばれる前でしたので、マイカーの維持費等を稼がねばならなかつたのです。講義が終わってから、友人とドライブに行ったり、洗車をしたりと、今思えば車中心の学生生活だつたような気がします。

「卒業もなくて楽勝なんだった」そのひと言で私は志望をガラリと変えて家政科を受験する事にしたのは、先の見えない不安な予備校生活のある日の事でした。友人とつるんで二年間楽しく暮らすと決めたのです。しかしその楽勝というのは、ある程度色んな事が出来て手先の器用な人限定であることを入り学してから知る所となります。なんで家政科に入ったのだらうと自問する日々が続いたある日、調理実習で「出し汁」と出会い

恭しく黄金色に輝く出し汁に私は魅了されたのです。出し汁を使って奥深く美味しい料理を作る素敵な女性になると決心しました。和裁洋裁には殊の外苦労しました。和裁の「運針」。ボツボツと縫っている私に先生がこうするのよと目の前で見せてくださいました。滑らかに布を泳ぐ針と糸に思わず「不

ができました。子供を育てながらの通学は、思っていたよりも大変で、子供を膝に乗せながらレポートを作成したり、子供を連れて大学に行ったりと、休学する前とは全く違った、慌ただしい生活を毎日送っていました。しかし、「自分の時間」が限られているため、授業に臨む姿勢や、勉強をする意味などを、改めて考え直すことができました。

家政科の出会い、釧路支部の出会い

女子短期大学部 家政科卒

横山 みどり

「卒業もなくて楽勝なんだった」そのひと言で私は志望をガラリと変えて家政科を受験する事にしたのは、先の見えない不安な予備校生活のある日の事でした。友人とつるんで二年間楽しく暮らすと決めたのです。しかしその楽勝というのは、ある程度色んな事が出来て手先の器用な人限定であることを入り学してから知る所となります。なんで家政科に入ったのだらうと自問する日々が続いたある日、調理実習で「出し汁」と出会い

を縦横底から支えているY田さんはじめ個性的で暖かく魅力あふれる役員群が忙しい合間を縫って活動しています。まだ同窓会デビューをしていない方、総会交流会に足を運んで頂きたいと思ひます。特に短大の同窓生の皆様、同窓というだけでいきなり馴染めるこの空間に一度は触れてみて下さい。

同窓会発足五十周年に寄せて

経済学部 経済法学科卒

空 綾子

大学を卒業してから早四年、在学中に生まれた娘も、小学校二年生になり、毎日元気な学校に通っております。私は、大学二年の後期から二年間休学し、娘を出産後復学、同級生よりは二年遅れでしたが、六年かけて何とか無事に卒業することができました。

生方や職員の方がいたからこそだと、感謝の気持ちでいっぱいです。同窓生となつた今、今度は、私が後輩である在学生のために何かできれば、と思ひつており、これからは北星学園大学の一員として、何らかの形でご協力ができれば、な、と考えております。

また、担任の教授にも優しく接していただいた。一年次は現在、社会福祉学部教授のジェームス・E・アリソン先

「あのフリスビーは、まだ俺が持っています。」

「子育て」という、他の学生とは違う環境でしたが、充実した学生生活を送ることができたのも、北星学園大学の先

「子育て」という、他の学生とは違う環境でしたが、充実した学生生活を送ることができたのも、北星学園大学の先

元文学部 浅岡雅子先生に 名誉教授の称号を授与

去る六月五日、大学チャペルにおいて、名誉教授の称号授与式が執り行われ、長年勤務され、多大な貢献をされた元文学部の浅岡先生に、田村学長から「北星学園大学名誉教授」の称号が授与されました。

浅岡先生は、一九八七年四月に北星学園大学に助教として着任、九一年に教授に昇格し、二〇一三年三月に退職されました。

鎌倉初期の歌人である藤原定家を主な研究分野とされ、著書として『藤原定家 拾遺愚草注 積二見浦百首』（共著）を執筆された他、藤原定家に関する数多くの論文も発表されています。

また、大学の授業科目として、文章表現、日本の文化、国文学概論を担当されました。とくに、本学学生の文章表現能力の向上に精力的に取り組まれ、教科書『日本語表現―演習と資料―』作成にもご尽力されました。

藤原定家



浅岡 雅子先生（前列右から5人目）

2013年度 北星オープンユニバーシティ 後期募集講座一覧

社会に門戸を開放し、卒業生、一般社会人、在学生がともに学ぶための生涯学習プログラムです。「語学」「資格取得」「ビジネス・社会連携」の категорияで多彩な講座を開講いたします。久しぶりに懐かしいキャンパスで、学ぶ喜びを再び思い出してみませんか。

開講日：10月18日(金)より順次開講します。
 申込期間：8月31日(土)～9月20日(金)
 申込方法：講義内容や日程等をホームページ (<http://www.open.hokusei.ac.jp/>) でご確認の上、ウェブサイトからお申し込みください。
 ホームページをご覧いただけない場合は、案内書をお電話にてご請求ください。無料で送付いたします。

広報課(エクステンションセンター) 電話：(代表) 011-891-2731
 平日 8:45-17:00 (11:30-12:30を除く) / 土曜・日曜・祝日 休み
 * 卒業生には受講料割引制度が適用されます。(一部除外の講座もあります。)
 * 前期から継続している語学系講座では、一部空きが少ないクラスがあります。

後期募集講座一覧 ※下記一覧の内容につきましては、変更の可能性があります。

講座NO.	講座名	講師	開講日	時間帯	回数	受講料 (卒業生割引料)
100111	はじめての英会話	エドワード ファロー	10月24日(木)	16:30-18:00	全12回	18,000円(15,000円)
101121	英会話入門(キフ先生)	クリストファー サイモンズ	10月23日(水)	19:00-20:30		
101131	英会話入門(ハンブトン先生)	デーブ ハンブトン	10月19日(土)	10:30-12:00		
101141	英会話入門(ハリ先生)	ハリ チャドウィック	10月19日(土)	13:00-14:30		
101311	英会話中級I(ハリ先生)	ハリ チャドウィック	10月19日(土)	10:30-12:00		
101321	英会話中級I(バーンズ先生)	ブライアン バーンズ	10月19日(土)	13:00-14:30		
101411	英会話中級II(ウォーカー先生)	スチュワート ウォーカー	10月22日(火)	19:00-20:30		
101421	英会話中級II(アンダーソン先生)	デビッド アンダーソン	10月19日(土)	10:30-12:00		
101511	英会話上級(ホイット先生)	ティモシー ホイット	10月22日(火)	19:00-20:30		
101521	英会話上級(ライアン先生)	アンドリュー ライアン	10月19日(土)	13:00-14:30		
130211	Travel English Plus	エドワード ファロー	10月22日(火)	19:00-20:30		
140800	Study and Test Skills (英検準1級/高レベルTOEFLなど)	ブライアン バーンズ	10月19日(土)	10:30-12:00		
144010	シニアのための再チャレンジ英会話	山岡 ゆう	11月9日(土)	13:00-14:30	全6回	9,000円(7,500円)
144022	フレーズで覚えるやさしい英会話	山岡 ゆう	10月29日(火)	18:00-19:30	全11回	16,500円(13,750円)
150211	Speaking English With a Foreigner	アラン ボゼア	10月24日(木)	19:00-20:30	全12回	18,000円(15,000円)
150301	駆け込みの旅行英会話	デビッド アンダーソン	10月19日(土)	13:00-14:30		
200300	TOEIC (R)	ブリックリン ゼフ	10月23日(水)	19:00-20:30		
110131	ドイツ語初級	ダニエル アーノルド	10月24日(木)	19:00-20:30		
110151	ドイツ語中級	ゲーザ オルデハーフェル	10月22日(火)	19:00-20:30		
110321	中国語入門	ソウ キンバ	10月23日(水)	19:00-20:30		
110381	実用中国語	ヤン アンナ	10月24日(木)	19:00-20:30		
110420	ハングル入門	井上 敦子	10月23日(水)	19:00-20:30		
110422	ハングル入門B	チョン ヨンジュ	10月23日(水)	19:00-20:30		
110430	ハングル初級	井上 敦子	10月22日(火)	19:00-20:30		
110455	ハングル中級I	イ ボン	10月22日(火)	19:00-20:30		
110481	ハングル上級・応用編	チョン クワンジャ	10月19日(土)	13:30-15:00		
110701	スペイン語入門	マヌエラ ジッフォーニ	10月24日(木)	19:00-20:30		
110635	ラテン語初級中級II	足立 清人	10月22日(火)	19:00-20:30	12,000円(12,000円)	
211302	Word 2010 スペシャリスト	富士通マイゼミナール講師	10月18日(金)	19:00-21:00	全10回	40,400円(38,400円)
211402	Excel 2010 スペシャリスト	富士通マイゼミナール講師	11月19日(火)	19:00-21:00	全10回	40,400円(38,400円)
244000	北海道フードマイスター検定	青山プロダクション講師	11月20日(水)	18:00-21:00	全6回	26,000円(23,000円)
245800	ビジネス実務マナー検定2級	青山プロダクション代表	11月6日(水)	18:10-21:00	全4回	17,000円(15,000円)
251600	秘書検定2級	青山プロダクション代表	10月21日(月)	18:30-21:00	全6回	19,000円(17,000円)
252100	2級FP技能士資格対策	(株)シー・アシスト講師	11月18日(月)	18:00-21:00	全12回	62,500円(62,500円)
253000	色彩検定3級	44カラスクール講師	10月22日(火)	18:30-21:00	全6回	16,500円(12,750円)
253400	色彩検定2級	44カラスクール学長	10月22日(火)	18:30-21:00	全6回	21,000円(16,500円)
ビジネス 社会連携	432200 eラーニングで学ぶ「はじめての心理学」-記憶と発達-	中嶋 輝明	10月22日(火)	インターネットによる遠隔授業です。都合のよい時間帯に教材を閲覧します。	全4回	1,000円(1,000円)

第38回 北星学園大学公開講座 Extension Lecture Hokusei Gakuen University

テーマ 「地域における暮らしのリスクと減災」

後援/札幌市教育委員会

開講日程および講義題目 (各回開催時間 18:20~19:50)

日 程	講座内容
◎第1回 2013年 9月27日(金)	演題：つながるコミュニティレストラン 講師：杉岡 直人 (本学 社会福祉学部 教授) 場所：北星学園大学
◎第2回 2013年 10月4日(金)	演題：ドイツの原発廃止 講師：K.U.ネンシュティール (本学 社会福祉学部 教授) 場所：北星学園大学
◎第3回 2013年 10月11日(金)	演題：TPPと日本の医療 講師：安部 雅仁 (本学 社会福祉学部 教授) 場所：北星学園大学
◎第4回 2013年 10月18日(金)	演題：地域経済と地域福祉・教育の強化策 講師：橘木 俊詔氏 (同志社大学経済学部教授・京都大学名誉教授) 場所：北星学園大学
◎第5回 2013年 10月25日(金)	演題：地域社会における減災を求心力とした地域住民と福祉専門職・機関との平常時の連携構築に向けて 講師：岡田 直人 (本学 社会福祉学部 教授) 場所：北星学園大学
◎第6回 2013年 11月1日(金)	演題：貧困と生活リスク～生活保護制度の課題～ 講師：木下 武徳 (本学 社会福祉学部 准教授) 場所：北星学園大学

申込方法

- ①「開催要項」を広報課にご請求いただき、「開催要項」に添付してある申込用ハガキにて50円切手を貼ってお送り下さい。
- ②受講料は、申込みと同時に、要項に添付の本学所定の振込用紙にてお振込ください。
- ③申込み・受講料は、大学「広報課」窓口(B館2階)でも受け付けます。その際には釣銭のないようお願いいたします。(月曜～金曜9:00～16:30 但し、昼休み11:30～12:30は除く)

■受講料/2,000円(全期間セット)

■定員/200名(定員に達し次第締め切ります)

■申込締切/2013年9月9日(月) 必着(受講料振込・申込ハガキ必着)

問合せ
申込先

北星学園大学 広報課「公開講座」係

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号

電話 011-891-2731(代)

新企画プロジェクトからのお知らせ

講演会・コンサート等も回を重ねる毎に、多くの皆さまのご参加をいただいております。これからも一層充実した内容に向けて努力したいと考えております。今後とも皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

オータムコンサート 「空の声、風の記憶」

日時:10月20日(日) 午後2時から
会場:本学チャペル

草原のチェロと呼ばれる馬頭琴とアジア中央部独特の歌唱法である喉歌に加え、弓奏楽器や伝統楽器、朗読とのコラボレーションなど、バラエティーに富んだ内容でお届けします。



嵯峨 治彦 たなかたかこ えま 慧 奏

嵯峨 治彦 (馬頭琴、喉歌)

たなかたかこ (朗 読)

慧 奏 (ピアノ、シンセ、ディジェリドゥ、民族楽器)

えま (ボーカル、月弓、カリンパ)

演奏予定曲目

- 「四季」
- 「beautiful star」
- 「Amazing Grace」
- 「風の砂漠の子守唄」ほか

日時:9月14日(土) 午後2時から
会場:本学A教室(図書館棟4階)

対談

「現代人の 生き方や命について」

田口ランディ・向谷地生良 講演会



田口ランディ

作家。2000年に長編小説「コンセント」でデビュー。以来、人間の心や家族問題、社会事件を題材にした作品を執筆している。小説以外にも、ノンフィクションや旅行記、対談など多彩な著述活動を展開。11年には原爆から原発への歴史的経緯をまとめた「ヒロシマ、ナガサキ、フクシマ 原子力を受け入れた日本」(筑摩書房)を発表。2010年より対話のできる世代の育成のため「ダイアログ研究会(in明治大学)」を開催、多くの参加者を得ている。3.11以降の社会と個人をめぐる葛藤を描いた最新作「サンカーラ この世の断片をたぐり寄せ」(新潮社)「ゾーンにて」(文藝春秋)など著書多数。

向谷地生良 (むかいやち いくよし)

青森県十和田市出身、ソーシャルワーカー。1978年北星学園大学文学部社会学科卒業後、北海道浦河町にある総合病院の精神科専任ソーシャルワーカーとして勤務しながら、精神障害を持つメンバーと共に、地域活動拠点「浦河べてるの家」(1984年)の設立に関わる。2001年に自活活動の一環として当事者研究を創始。2003年4月より、北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科で教鞭をとりながら、現在も浦河べてるの家をフィールドにしながら当事者研究の普及をめざし国内はもとより、世界各国にメンバーとともに足を運んでいる。

講演会・コンサートの 申し込み方法について

各々の申し込み受け付け開始日は下記のとおりです。これ以前のお申し込みは無効となります。

- ① 田口ランディ・向谷地生良講演会 8月26日(月)
- ② 嵯峨治彦 オータムコンサート 9月30日(月)
- ③ 物部憲一 クリスマスコンサート 11月18日(月)

「〇月〇日講演会・コンサート参加希望」と、お書きになり、氏名、連絡先電話番号、参加希望人数を明記の上、ハガキまたは電話、FAX、e-mail でお申し込み下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。

なお、お申し込みされた方は直接大学へお越しください。整理券等は発行しません。

お申し込み・問い合わせ先

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1
北星学園大学同窓会事務局 同窓会プロジェクト係
TEL 011-891-2731 FAX 011-892-6097
e-mail : dousoukai@hokusei.ac.jp

お願い 友人、知人の方もぜひお誘いください。
小さなお子さんの入場はご遠慮ください。



クリスマスコンサート

「古楽器によるバロック音楽の典雅な響き」

日時:12月8日(日) 午後2時から/会場:本学チャペル



「コンサートに寄せて」

この度は、私が代表を務めておりますムジカ・アンティカ・サッポロを率いての演奏です。総勢9名の合奏団で、メンバーは札幌楽員と札幌在住の音楽家と構成されています。この団体はバロック時代の音楽を当時のスタイルを復元した楽器で演奏することを目的としています。現代の楽器は「歌う楽器」古楽器は「語る楽器」と言えるのではないかと思います。今回取り上げるのは「合奏協奏曲」と言われる楽曲たちです。ヴァイオリンやチェロの華々しいソロ、力強い総奏、多彩なリズム、高度なテクニクなど魅力あふれる構成です。この分野で優れた作品を残したヴィヴァルディ、コレリ、ヘンデルの作品を演目の中心に据えようと思っています。

9名それぞれが奏でる音はどこか雅で、懐かしく、素晴らしい音響空間のチャペル隅々に響き渡ることでしょう。是非ご来場いただき、古楽器による音の響きを体感してください。

ムジカ・アンティカ・サッポロ 代表 物部 憲一

ムジカ・アンティカ・サッポロ

ヴァイオリン — 物部憲一、土井 奏、岡部亜希子(札幌交響楽団)、斉藤祐太
ヴィオラ — 荒木聖子、水戸英典(札幌交響楽団)
チェロ — 宇田 梓
コントラバス — 斎藤正樹(札幌交響楽団)
チェンバロ — 近江 宏

「アコーディオンは、たった一人のオーケストラ」

後藤ミホコ
コンサート報告



去る五月二十六日(日)、午後二時から今回二度目となる後藤ミホコさんのアコーディオンコンサートが開催されました。
第一部は「チャールダーシュ」「モルダウ」などロシア、東欧の曲を中心に、第二部は今年一月NYブロードウェイ公演での思い出のスライドショーと共に幕を開けました。圧巻だったのはバッハの「トッカータ」。パイプオルガンかと思う迫力と音色に圧倒されました。
また、楽しいおしゃべりと、観客の皆さんにも手拍子で参加して頂くなど、随所に工夫が見られ、「よく練られたプログラム」とアンケートにもありました。
タイトルの「アコーディオンは、たった一人のオーケストラ」どおり、まさにオーケストラのように、いくつもの音が交差し、縦横無尽の素晴らしいコンサートでした。
アコーディオンの魅力と可能性をあらためて認識したひと時でした。

同窓会奨励生決定!

今年度の同窓会奨励生が決定しました。「卒業後も同窓会活動に積極的に参加する意思のある・大学短大部二年次以上の学生、大学院生で、学内外を問わずに様々な分野で努力し、活躍している学生」という募集要項で、在学生による自己推薦文によって募集し、応募者について幹事会で四名の採用を決定しました。なお、採用された奨励生には、十月

の同窓会懇親会に出席していただき、会員および教職員に紹介することとなっています。また、奨励生への奨励金授与式と合わせ、過去の奨励生とともに同窓生の集いを七月十八日に開催しました。田村信一学長はじめ、たくさんの方の過去の奨励生も参加し、先輩、後輩の間で和やかに懇談され、松倉千春会長から奨励金が授与されました。

奨励生からひとこと

この度は同窓会奨励生にご選出いただきありがとうございます。身に余る光栄です。

心理・応用コミュニケーション学科で学生生活を送る中で、友人や先輩・後輩、さらには先生方からたくさん励みを受け、成長することができました。今年度の二月にはゼミの伝統行事である「大谷地スノーフェスティバル」のリーダーを担い、先頭に立つ者の責任の重さ、支えてくれる方々の力の大ささ、そして何より、一つの大きなイベントを全員で成功させることの素晴らしさを学ぶことができました。大学から始めた少林寺拳法も大学四年間の集大成というところで今まで以上に力を入れて努力していくつもりです。大学生活での残された時間は少なくなりましたが、大学を出てからも北星を忘れることなく、社会に向けて心理・応用コミュニケーション学科の素晴らしさを伝えていくことが私の使命だと思っています。



下段左3人目から岸部陽太さん、飛島秀信さん、石川直樹さん、櫻井健作さん

奨励生に選ばれて

文学部 心理・応用コミュニケーション学科
三年 石川 直樹

今回二〇一二年度北星学園大学奨励生に選んでいただきありがとうございます。私は高校時代から文武両道を実現させてきました。その結果、北星学園大学文学部心理・応用コミュニケーション学科に指定校推薦で入学することができました。大学入学後は指定校推薦の名に恥じぬように勉学に励んでいきます。来年度は一年間休学し、さ

らにたくさんのご指導を学びたいと思っています。留学は家庭の事情もあり、全て自費で行くことになっていまして、その費用を貯めるべく、アルバイトと学業の勉強と語学学習に励んでいます。今回いただいた奨励金はこの留学に使うつもりです。同窓生の人たちより一年遅く社会人になるわけですが、その一年で自分の武器にできるような経験を積んで、たくさんのご指導をうけていきたいと思っています。

奨励生からひとこと

同窓会奨励生に

文学部 英文学科
四年 岸部 陽太

この度は同窓会奨励生にご選出いただきありがとうございます。これを機に、残りの学生生活を更に有意義なものにできるように、より一層精進して参ります。私は昨年、協定校の台湾東海大学に派遣留学をさせて頂きました。台湾では語学はもちろん、日々

本と台湾を中心とした東アジアの国際関係や歴史も学びました。現在は実質三年生として復学しています。今後は大学のゼミに所属して成である卒業論文の執筆に向けて、専門の勉強を進めると共に、台湾で学んだ内容も活かせるように更に努力していきます。また現在、学内・学外のボランティア団体で留学生と関わる活動もしています。自分の経験を活かし、それを社会に還元していけるよう今後とも努力していきます。

北星学園大学の同窓会奨励生として

社会福祉学部 福祉臨床学科
二年 櫻井 健作

この度は、同窓会奨励生にご選出いただき、ありがとうございます。同窓会奨励生の名に恥じ

ないよう、精進してまいりたいと思います。私は、昨年の一年間、東日本大震災の影響で東北・関東から札幌に避難された方々への支援を行ってきました。札幌に避難してきた方々は母子家庭の割合が多く、環境の変化から精神的に大きな負担を抱えている場合がみられます。私は、そのような環境でストレスを抱えた子どもたちと一緒に遊んだり、話を聞いたりするボランティアをしました。ボランティアやバイト、大学の勉強でほとんど休みのない日々ですが、とても充実しています。今後は、今も被災地で避難している方々に目を向け、支援をしていければと考えています。

2012年度同窓会寄贈図書決定!

同窓会から在学生への還元事業として図書館への図書寄贈を毎年行っていますが、今年度の寄贈図書の選考結果ができましたので、お知らせいたします。同窓会寄贈図書は、在学生へのアンケートにより募ったリクエストを考慮した上で、在学生が読みたい図書、親しみやすい図書となっています。

今年度の寄贈図書(抜粋)は、次の通りです。

図書

- ・ふくろうの本.....未所蔵分 23冊
- ・とんぼの本.....未所蔵分 13冊
- ・放送大学教材 放送大学大学院教材.....未所蔵分 61冊

DVD

- ・プロフェッショナル仕事の流儀 第8期、第9期
- ・デスパレートの妻たちシーズン7
- ・井上ひさし追悼公演 黙阿弥オペラ
- ・どん底
- ・国民の映画 (PARCO劇場DVD)
- ・劇団四季ミュージカルユタと不思議な仲間たち
- ・噂の男 (PARCO劇場DVD)
- ・メタルマクベス
- ・瞳の森に棲む鬼
- ・阿修羅上の瞳 映画版&舞台版

※北星学園大学図書館は、同窓生の方にもご利用いただけます。ご利用の際は、身分証明書と写真(3cm×3cm)をお持ちになり、図書館カウンターへ直接お越しください。当日より図書の貸し出しを受けられます。詳しい利用方法や開館日程は、ホームページ(<http://library.hokusei.ac.jp>)でご確認ください。ご不明な点は、お気軽にカウンターでお尋ねください。

星学祭のお知らせ

第五十二回目を迎える今年の星学祭は、一〇月十三日(日)・十四日(月・祝)の開催となります。今回の星学祭は、前年度同様一般学生からスローガ

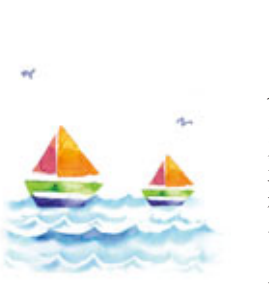
ンの案を募集し、現在選定中のためまだ決定してはおりませんが、例年通り北星学園大学の学生らしいものになることと思います。今年も研究発表会や模擬店発表、十周年を迎えた砂金掘り体験会など、盛り上がるような企画を多数ご用意し、更に例年までとは一味も二味も違う大学祭になるように日々準備を進めて

おります。ご自身の学生時代を思い起こし、今年の星学祭を学生と一緒に盛り上げていただきたいと思っております。同窓生の皆様、第五十二回星学祭にご家族・ご友人の方々をお誘いあわせの上ごぞつてご参加くださいませうようよろしくお願い申し上げます。

サークル活動ニュース

二〇一三年二月一日〜六月三十日報告分

- 【準硬式野球部】
 - ◆北海道地区大学準硬式野球二部リーグ選手権大会 優勝
 - ◆全日本学生テニス選手権大会 北海道地区予選 和代 共代 シングルスベスト32
- 【硬式庭球部】
 - ◆全日本学生テニス選手権大会 北海道地区予選 和代 共代 シングルスベスト32
- 【軟式庭球部】
 - ◆二十四回総季北海道学生ソフトテニスインドア選手権大会 森田・齋藤ペア 男子ベスト36
 - ◆春季ソフトテニス選手権大会 男子一部昇格
 - ◆宮間・奥山組 ベスト16
 - ◆インカレ出場権獲得
 - 【ハンドボール部】
 - ◆北海道学生ハンドボール春季リーグ戦大会 女子 一部優勝
 - ◆東日本インカレ出場 男子 二部位
 - 【卓球部】
 - ◆春季個人戦卓球大会 鈴木 杏奈 女子第二位
 - ◆第16回篠崎卓球選手権大会 鈴木 杏奈 女子シングルス準優勝
 - 【剣道部】
 - ◆剣道団体優勝大会 一般男子の部 準優勝
 - ◆段別選手権大会 森 翔哉 男子優勝
 - ◆山本 雄斗 男子準優勝
 - 【羽球部】
 - ◆第五十五回北海道学生バドミントン春季リーグ戦大会 男子三部 一位
 - ◆第六十二回北海道学生バドミントン選手権大会 女子ダブルス 出口・三條ペア ベスト16
 - 【スキー部】
 - ◆サロモンCUP 九津見 祐加 第一位
 - ◆旭川市長杯モーグル大会 阿部 聡志 一般男子の部 第二位
 - ◆寺沢 彬 一般男子の部 第二位
 - ◆宮島 杏衣 一般女子の部 第一位
 - ◆第三十一回北海道学生スキー技術選手権大会 女子総合 第三位
 - ◆コゴブチャレンジ 阿部 聡志 一般男子の部 第二位
 - ◆寺沢 彬 一般男子の部 第三位
 - ◆宮島 杏衣 一般女子の部 第二位
 - 【陸上競技部】
 - ◆第六十五回北海道学生陸上競技対校選手権大会 国兼 慶 女子三段跳 第二位
 - ◆第十八回大学生アイスホッケー 旭川大会 第三位
 - 【チアダンス部】
 - ◆冬祭り・さっぽろ雪まつり・CAPPO等での発表
 - 【アルティメット部】
 - ◆第三回北海道ジュニアカップ 小野寺美季 MVP
 - ◆今野 春奈 敢闘賞
 - 【障がい児者福祉研究会】
 - ◆託児ボランティア活動 等
 - 【地域福祉研究会】
 - ◆各種イベントでのボランティア活動
 - 【手話サークル モナミ】
 - ◆手話コーラスの発表 等
 - 【放送研究会】
 - ◆ネットラジオ配信 等
 - 【写真部】
 - ◆合同写真展開催
 - 【吹奏楽部】
 - ◆CAPPO等でのコンサート・大学バンドフェスティバル参加 卒業式での演奏
 - 【NMA】
 - ◆冬の定期演奏会開催
 - 【演舞同好会】
 - ◆第二十二回YOSAKOIソーラン祭り ファイナル出場 優秀賞獲得
 - 【NSBBC】
 - ◆メモリアルステージでのコンサート開催
 - 【ボランティア コパ部】
 - ◆各種ボランティア活動に参加
 - ◆ボランティアサークルable
 - ◆各施設・イベントでのボランティア
 - ◆ストリートダンスサークル流
 - ◆ダンスショーケース開催
 - ◆アカペラサークルぼりぼり
 - ◆ハモろうよサポロで 出場



九月に入り、北海道の短い夏も過ぎ去ろうとしています。が、同窓生のみなさんはいかがお過ごしでしょうか。今号は同窓会発足五十周年を記念しまして、例年よりも紙面を増やし、歴代会長や同窓生の皆様の思い出について掲載いたしました。この機会に、ぜひ十月の総会・懇親会へお越しただければと思います。さて、今年も秋以降、コンサートや講演会などのイベントを実施いたします。同期、先輩、後輩等お誘いあわせのうえご参加ください。なお、住所変更、ご慶弔等、事務局までお知らせください。幸いです。

〈同窓会事務局 山下〉

